



第4回共和病院地域医療シンポジウム

5月19日(土)は、晴天に恵まれ、大府市役所多目的ホールにおいて「第4回共和病院地域医療シンポジウム」が開催されました。シンポジウムは、地域との連携や日頃の臨床活動を振り返り医療の質を高めるためにこれまで行われてきました。平成14年度から精神福祉関係では居宅生活支援事業や福祉サービス利用への相談・助言などを市町村で行うこととなります。このため、地域での取り組み・連携の重要性が今まで以上に必要になりますが、こうした点でもこのシンポジウムの果たす役割が大きくなっているように思われます。実際、当日の地域関係者の参加者が163名ということが、こうした取り組みへの関心や必要性を示しているといえます。

さて、シンポジウムは、加藤仁理事長の開会の辞で幕をあげ、第一部記念講演が、この3月名古屋大学医学部精神医学教室助教授を退官され今年の5月より共和病院副院長として着任された村上靖彦先生によりなされました。『「精神分裂病」という病気をどのように受け止めたらいいか』というテーマでお話をされ、「精神分裂病とはどのような病気か」ということを中心に、治療、社会復帰援助に関してなど、臨床体験に根ざし、分かりやすく噛み砕いた内容でありました。特に治療に関して、「社会のなかでの治療が中心」「施設病に陥らない」というお考えが、多くの方に印象として残ったようでした。また、参加者からの「偏見」に関する質問にご自分のお考えを率直に話され、質問された方も力づけられたようでした。ただ、時間の制約のため、全てのお話が聴けなかったのが非常に残念でした。

第4回地域医療シンポジウム

第二部は共和病院職員である看護スタッフと医療福祉室精神科ソーシャルワーカーのそれぞれが発表し、今回始めて他機関より大府市社会福祉協議会の内海勝彦様が発表されました。



まず、『「多飲」のある患者の治療・看護』について精神科病棟看護スタッフが発表しました。毎日の忙しい看護の中で、多飲・水中毒という今のところ原因がはっきりしていない問題行動に対して個別にかかわり改善がみられたことを、症例を通して丁寧に検討していました。その中で、これまでの行動制限をはずして水中毒を「無効なコーピング」として位置付けて適切な介入を行ったこと、日内体重差を調べ患者とともに共有していくこと、ペットボトルの利用などが報告されました。また、看護者の介入にあたっては患者の問題行動に対して批判したり咎めたりはせず、こうした「生き方」を受け入れるようにして治療関係をはぐくみ、患者の自尊心を高めるような工夫が述べられました。患者の持っている能力を有効に引き出すためのきめのこまやかな対応や本人を尊重する看護姿勢に感銘を受けました。

次に『アンケート結果から見た家族の悩み・それにどう答えてゆくべきか～今後我々は地域に何を構築して行くべきか』というテーマでワーカーが報告しました。当院には昭和42年より「さつき会」という病院家族会がありますが、その活動の紹介から始まり、家族会の方へのアンケート調査をもとに問題提起を行いました。アンケートでは本人や家族の状況をおさえた上で、社会資源の利用状況、家族の気持ち・不安、今後への期待・要望などが調べられました。結果としては、家族が高齢化する中、病気についての不安を相談できる場や経済的な安心を望んでおり、このためには保健・医療・福祉サービスが充実することに期待が大きいことが分かりました。これをうけ、家族の扶養には限界があり、利用する人の声を反映して地域で支えるシステム作りを行い、今後ケアマネージメントの実施に伴い保健・医療・福祉サービス連携と市町

村への期待が大きいとまとめられました。発表の中で10年前から現在にいたる保健・医療・福祉サービスの数の変化が図示されました。以前よりは増えて来ていますがまだまだ充分ではない事を改めて実感しました。

最後に、大府市社会福祉協議会より『精神福祉ボランティア講座を企画して』と題して、社会福祉協議会の平成10年度からの取り組みやボランティアグループ「ひまわり」の活動などが報告されました。ボランティア講座は「精神保健福祉に関する理解と精神障害者支援におけるボランティア活動のあり方を学ぶ」をねらいとして毎年行われ、知多保健所や当院が支援してきています。そして、熱心な参加者が多く今年度も行われますが、すばらしいことにこうした講座を学んだ人が中心になり自主的に「ひまわり」が出来上がったようです。発表された内海さんをはじめ、フロアから発言されていたボランティアの方々とても誠実であり、こうした多くの方に支えられていることに対して感謝するとともに頭が下がる思いがしました。

当日の医療福祉室宮沢次長と看護部佐藤次長の堅苦しくなく軽妙な司会が全体にとってもよい雰囲気を作り出していたと感じました。また、今回発表に際してパワーポイントを利用しましたがきれいで分かりやすく発表に花を添えていました。こうしたシンポジウムがつつがなく行われたのは、当日まで多くの方々の努力や協力があつたからだと思います。日頃の臨床活動も、院内でのチームワークはもちろん他機関・地域の方々との連携が今後も綿密に行われるようにしていきたいと思ひます。

來多 泰明

「名誉院長米寿を祝う会」

この度、共和病院名誉院長、加藤邦之助先生には平成13年3月5日に、又とき子夫人には平成12年10月12日に満88歳の米寿を共にお迎えになられました。この慶事を祝し、当共和病院創立記念日でもあります平成13年4月16日(月)に、名古屋 Marriott アソシアホテル51階シリウスの間にて「名誉院長米寿を祝う会」が盛大に開催されました。本席には名誉院長のご親族の皆様を始め今日まで長くご交誼を賜った方々、又共和会の職員並びに長年一緒に仕事をやってこられた方々等64名のご出席者を頂きました。当日ご夫妻は皆様と共に和やかに歓談され楽しい一時を過

ごされました。

開会に当たりこの会の発起人であります土門先生(共和病院診療部長)にご挨拶を頂き、続いて笠原先生(桜クリニック院長)より今日まで名誉院長の歩まれてこられた人生を細かくご紹介され、併せて心温まるお祝いのことばを頂きました。引き続き成田先生(椋山女学園大学教授)のご発声により乾杯が行われ祝宴に入りました。宴の途中には長年一緒にお仕事をされています藤田先生(共和病院診療部顧問)より名誉院長の日頃のお姿や、お人柄についてユーモアを交えながら楽しいお話を伺いました。更に、加藤医院及び共和病院に長年看護婦として勤務されました入谷さんからも懐かしい思い出話がありました。



パーティーのアトラクションとしてはパワーポイントを利用し、先生の生い立ちより今日に至るまでを時代に沿ってプロジェクターにてスクリーンに上映され、1コマずつナレーターによって紹介と説明が行われると、会場からは笑い声や感嘆の声にあわせて皆さんの拍手が送られました。又、今回ご出席されました皆様より、名誉院長が長年作ってこられた俳句を編集し「句集を発刊する事」をお祝いとして贈られました。句集発刊については、先生の長年の夢でもありましたので、大変喜ばれておられます。祝賀会の最後に当たって、名誉院長より皆様のご臨席と祝意を頂いた事に対しまして感謝とお礼のことばが述べられ閉会となりました。

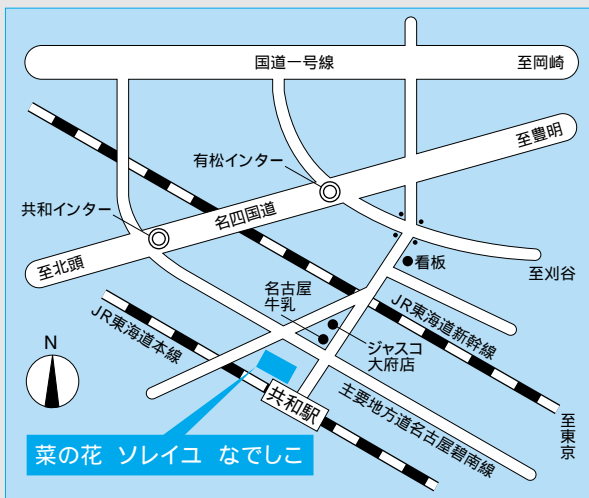
名誉院長におかれましては奥様共々これからも末永く仲睦まじくお過ごし頂き、健康に留意されて一日も長く、たくさんの患者様のために白衣を着続けられる事を願っております。

尚、現在名誉院長を交え句集編集作業が行われており、今日までの俳句の中から250余を選び、名誉院長が歩まれた年代別にエピソードや時代背景、心情を添えて読者の皆様が読みやすいように構成を心掛け晩秋には皆様にご覧頂けるように毎週打ち合わせを行っております。岡 秀 宜

移転 & 開設のご案内

「菜の花」「ソレイユ」

このたび指定居宅介護支援事業所「菜の花」、訪問看護ステーション「ソレイユ」は事業所を移転いたしました。なお、7月1日には福祉用具レンタル&サポート「なでしこ」を開設いたしました。「なでしこ」は療養生活に必要な福祉用具(電動ベッド、車いす、歩行器、杖など)のレンタルや介護保険制度や適用されるトイレ関連、にゅうよく関連用品(ポータブルトイレ、シャワーいすなど)のご購入の際に、お身体の状況や生活環境に合わせて最も使いやすい福祉用具のご選択をご相談にのりながらご提供させていただきます。今後より一層、皆様方の療養生活・在宅介護のお手伝いをしてまいります。



《新住所》

〒474 0074

大府市共栄町9丁目2 4 ホワイトキャッスル共和202号

《電話番号》

菜の花 0562 45 1161

ソレイユ 0562 45 1171

なでしこ 0562 45 7227

子育てノウハウ

～子どもの成熟面と幼若面～

さて、皆さんの周りの子ども達は社会に出て5月を無事に乗り越えたいでしょうか？

前回、子どもの持つ幼若面と成熟面について触れましたが具体的な事例を通して、もう一度考えてみましょう。

4歳のA子さんは農家の二人姉弟の長女として生まれ、家には母方祖父母、父、母、母の妹など同居し、にぎやかな二世帯家族でした。生まれたとき周囲の大人は初めての孫だったため、とても喜び心からお祝いをしました。大人の期待を一心に受け、発語も早く言葉の理解もすぐれ、利発な良い子でした。幼い頃から祖父母や両親の関心を買ひ、一家の中心になっていました。しかし3歳8ヶ月の時、弟が生まれ家族の目は赤ちゃんの方に向けられ、またちょうど春の時期は農家は忙しく、A子に手をかけることができなかつたのです。気づかない内にA子さんは食事時間になるとぐずり「食べさせて」「これキライ」「玉子焼き焼いて」などと母親を困らせるようになりました。母親は「お姉ちゃんでしょ!」と叱るかA子の言いなりになるか、一貫性のない育児を続けていました。そのうち、揺れるものを怖がり「お風呂に入れない」とパニックを起こすようになり、精神科の外来に相談にきました。母親と二人で受診したA子さんは母親に甘え表情も良く、一緒に絵本を読んだり、とても落ち着いて利発に振る舞っていました。しかし家に帰ると相変わらず赤ちゃんとお母さんを取り合い、トイレト・トレーニングが完成していたにも関わらず「オムツをはめて」「歩けないから抱っこして」とせがむようなこともありました。そこでお母さんに「A子の名前を意識して何度も呼ぶ事。A子を抱きしめる事(スキンシップを多くする)A子の気持ちに共感し、とりあえず無条件に受容すること。等をお願いし、しばらく通ってもらうこととしました。

数回通った後にA子さんの退行と思われる症状は消失し、弟に対しても拒否することなく一緒に遊んだり母を手伝って弟の世話をするようになり「揺れるものが怖い」と言って入らなかつたお風呂やプールに入れるようになり、弟に対する嫉妬も消失しました。このように子どもは発達に応じて、いろんな意味で自立をして行くのですが養育者との関係で様々な心の不安定さを招くのです。この場合、養育者は子どもの成長した面(成熟面)にのみ目を奪われるのではなく、赤ちゃん返りしている面(幼若面)にも目をやり、退行している子どもを無条件に受け止めながら発達課題を乗り越えられるよう援助するのです。子どもは成熟面、幼若面と両面を持った「球」のようなものです。これを心に置きながら子どもへの援助をする事が大切です。 院長 榎本 和

編集後記



1年の半分も過ぎましたが皆さんいかがお過ごしでしょうか?今回は夏号!まだまだ暑い日が続きますが編集委員一同暑さに負けず頑張っています。今回は名誉院長米寿を祝う会のご報告をさせていただきましたが、当日「東海メディケアガイド」の方が名誉院長を取材されました。その記事が「病院はサービス業」共和病院43年のあゆみ」として2001 Vol.7に紹介

されています。そこで、この雑誌を5名の方にプレゼントいたします。郵便番号・住所・氏名・年齢・性別・「WA!」へのご意見を添えて、「〒474 0071 大府市梶田町2 123 医療法人共和会 メディケアガイドプレゼント係」まで葉書またはメール(khp-k@magical.egg.or.jp)にてご応募ください。

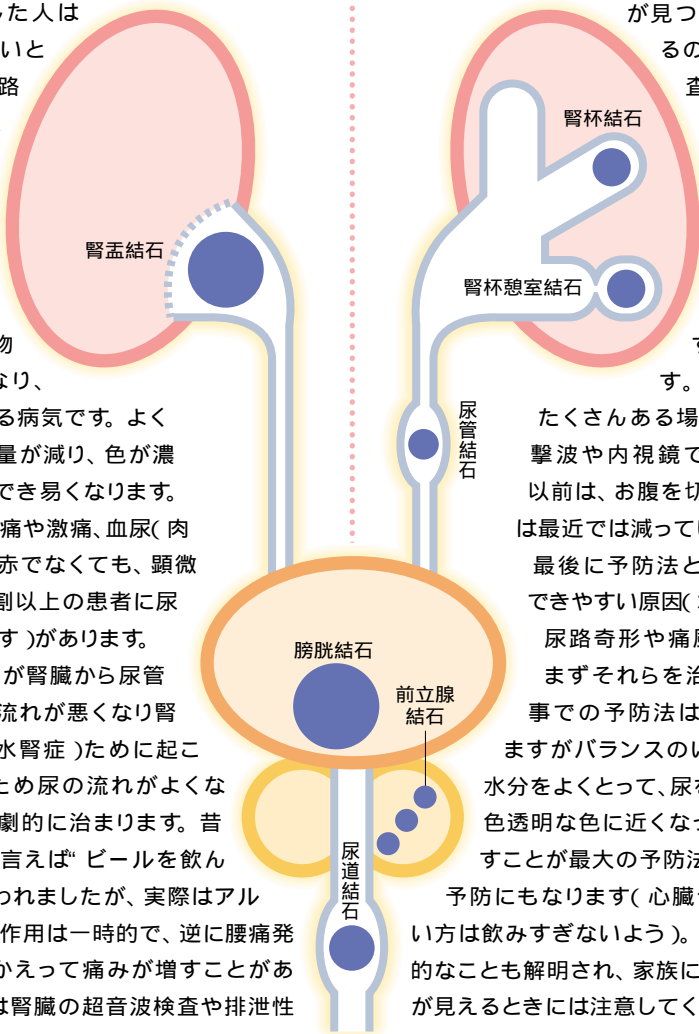
尿路結石

Uninary stones

そろそろ、夏本番となりました。この時期になると急激な腰の痛みで病院を受診する方が増えてきます。

尿路結石は最近増加傾向にあります。1度この痛みを経験した人は2度と忘れないと言います。尿路結石とは、尿の中に溶けきれなくなったシュウ酸、リン酸カルシウムや尿酸といった物質が結晶となり、尿中に出てくる病気です。よく汗をかき、尿量が減り、色が濃くなり結晶ができ易くなります。症状は腰の鈍痛や激痛、血尿(肉眼で見て真っ赤でなくても、顕微鏡で見ると9割以上の患者に尿潜血を認めます)があります。

腰痛は結石が腎臓から尿管に落ち、尿の流れが悪くなり腎臓がはれる(水腎症)ために起こります。そのため尿の流れがよくなれば、痛みは劇的に治まります。昔は尿路結石と言えば「ビールを飲んで流せ」と言われましたが、実際はアルコールの利尿作用は一時的で、逆に腰痛発作を誘発し、かえって痛みが増すことがあります。診断は腎臓の超音波検査や排泄性



尿路撮影(造影剤を使用します)などがあります。尿路は奇形が多く、そのために結石ができることもあります。

血尿の原因には尿路結石以外に、腫瘍が見つかる場合があるので、早めに検査をお勧めします。治療は小さい結石であれば、水やお茶をたくさん飲んで尿で流すのが一番です。大きい結石やたくさんある場合には体外衝撃波や内視鏡で治療します。以前は、お腹を切るような手術は最近では減っています。

最後に予防法として、結石ができやすい原因(ホルモン異常、尿路奇形や痛風)があれば、まずそれらを治療します。食事での予防法はいろいろありますがバランスのいい食事をし、水分をよくとって、尿をいっぱい(無色透明な色に近くなってきます)出すことが最大の予防法です。脱水の予防にもなります(心臓や腎機能の悪い方は飲みすぎないよう)。最近では遺伝的なことも解明され、家族に尿路結石の方が見えるときには注意してください。

腰痛は結石が腎臓から尿管に落ち、尿の流れが悪くなり腎臓がはれる(水腎症)ために起こります。そのため尿の流れがよくなれば、痛みは劇的に治まります。昔は尿路結石と言えば「ビールを飲んで流せ」と言われましたが、実際はアルコールの利尿作用は一時的で、逆に腰痛発作を誘発し、かえって痛みが増すことがあります。診断は腎臓の超音波検査や排泄性



共和会理念・基本方針

『優しい医療・楽しい職場』

私たちが目指す『優しい医療』とは! 患者様に安心と満足を提供する医療 良質且つ効率的な医療の提供 患者様へのサービスの充実

私たちが目指す『楽しい職場』とは! 毎日の出勤が楽しくなる職場 職員のレベルアップと仕事の充実が 感じられる職場 職員の満足が患者様へ反映される職場

当院をご利用の皆様へ

わたくしたちは、利用者の皆さまへより良い医療をやさしく安全に提供し、納得のいく医療を受けていただくために努力しています。それには利用者の皆さまと医療者の意志の疎通が最も重要であると考えます。これを実現するために、わたしたちは思いやりのある、人格を尊重した医療を提供するとともに、以下のような医療を目指しています。

- 1.あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
- 2.あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、それを十分納得して同意したのちに、医療を受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によってご家族、代理の方にお話をする場合もあります。
- 3.あなたは、今受けている治療、処置、検査、看護・介護、食事その他についてご自分の希望を申し出ることができます。また、他の医療機関に転院したい場合は、必要な情報を提供致します。
- 4.あなたの医療上の個人情報保護されます。

病院長 榎本 和



医療法人 共和会 **共和病院**

愛知県大府市梶田町2-123

TEL.0562-46-2222(代)
URL http://www.kyowa.or.jp/

「思かなれば獨り涼しくおほします」という句があります。が、漱石は余程自由という天地がほしかったのでしょね。

能もなき、
教師とならん
あら涼し
漱石

明治三十六年の句で後になって漱石が自解している。「ずいぶん長い間教師を務めましたが、教師としては何の成すところもなく全く無能でした。しかし無能だったが夏の暑い時には涼しさを求めました。この心境を句にしたのです。」

この年一月留学のロンドンから帰国し、四月には高、東大英文科の講師の辞令を受けている。官費留学の二ヶ年に対しその倍の四ヶ年の間教師として働かなければならない義務が課せられていたのです。

明治三十七年十一月、「吾輩は猫である」が発表され、翌年には文筆の方面で有名となり、森田草平、小宮豊隆、鈴木三重吉、寺田寅彦、野上豊一郎、松根東洋城、坂元雷鳥等が門下生となった。そして三十九年には三月「坊ちゃん」九月には「草枕」が出版されました。そして四年間の教師義務年限が終わると、東大教授という名譽ある地位を惜しげもなく捨てて朝日新聞社に入社してしまいました。

冒頭の句と同時に「無人島の天使とならば涼しがる」「思かなれば獨り涼しくおほします」という句があります。が、漱石は余程自由という天地がほしかったのでしょね。

名譽院長
加藤 邦之助